

衆院解散 総選挙へ

教育負担軽減に総力

社会保障の強化、公明が実現

山口代表らが強調

衆院は28日昼の本会議で解散された。これを受け、政府は臨時閣議を開き、第48回衆院選の日程を10月10日(火)公示、同22日(日)投票」と決めた。公明党は解散後、国会内で衆参両院議員総会を開き、全議員が「鉄の団結」で戦い、断じて勝ち抜くことを誓った。席上、山口那津男代表、井上義久幹事長(衆院選予定候補)は比例東北ブロックは、衆院選の争点の一つが2019年10月からの消費

税率引き上げに伴う増収分の使い道変更であることに触れ、「軽減税率を先行し、増収分を公明党が主張してきた幼児教育の無償化などに大きく使う。こうした方針を訴え、信任を得ていく」と強調。その上で、公明党現有35議席の死守へ断じて勝利しようと呼び掛けた。この後、山口代表は都内で街頭演説を行い、公明党への支援を訴えた。

「2面」山口代表、井上幹事長の発言要旨

10月10日公示、22日投票



山口代表、井上幹事長を中心に「鉄の団結」で衆院選勝利を誓った党両院議員総会=28日 国会内

両院議員総会で山口代表も「前倒しで実施すること、衆院選で公明党が強く訴える教育負担の軽減について、公明党の推進によって東京都で私立高校授業料の実質無償化が実現した成果に喜ぶ。「全国で無償化を求める声を受け、それを表現することこそ公明党の役割だ」と力説した。高齢者支援では、公明党が年金の受給資格期間短縮(25年から10年)の前倒しを実現した実績を報告した上で、消費税率10%時に予定される低年金者への加算

希望の党

政権担う準備が不足

「希望の党」に民進党が合流することには、「選挙直前の急ごしらえの政党に果たして政権を担う覚悟や準備があるのか。大変に疑問だ」と述べた。両院議員総会には、安倍晋三首相が駆け付け、「自公連立政権こそ、政治を安定させ、国民の命と幸せな生活を守り抜き、子どもたちの未来を開くことができ、教育の無償化、給付型奨学



公明党への絶大な支援を誇る山口代表(前列左から2人目)、高木勲(左)、高木(孝)(右)、佐近(右端)の各氏=28日 東京・有楽町

金の拡充に充てていきたいと強調。「経済成長にプラスして、社会保障を充実させることに臨むが当たって来た。これを公明党が政権の推進力として実現していく」と力説した。

希望の党に対しては、「自身は民進党の出身者だ。実績もないにわかに生まれ寄せ集まった人たちに、これからの課題解決を委ねるわけにはいかない」と語った。

街頭演説会には、高木勲介幹事長代理(衆院選予定候補)は比例東京都ブロック、高木美智代前衆院議員(同)、佐近康島党総務委員長(同)らが出席した。